

活水女子大学看護学部の男子受け入れについて

この度、活水女子大学看護学部看護学科では、2025年4月より男子を受け入れることといたしました。

理由につきましては、一つ目に、男子看護職育成に対する医療機関からの要請に応えるためです。以前より、長崎医療センターや他の医療機関から、男子看護職の育成やその「再開」について要望がございました。活水女子大学看護学部の前身は、長崎医療センター附属看護学校でございますが、看護学校当時は、男女共学であり、男子への教育がなされていたからです。二つ目に、看護職を目指す男子高校生のニーズに応えるためです。大学担当者による高校訪問の際には、高校側から男子受け入れについての質問が増える傾向にあり、男子看護職のニーズや関心の高さが窺えたことから、大学としてそれに応えたいと考えたからです。三つ目に、男子看護職を含めた看護職の育成を通じて、地域医療のサービス向上に貢献することが本学の役割だと考えたからです。

これらを主な理由として、十分な協議を経て、看護学部において男子を受け入れる決定に至りました。

男子を受け入れるにあたり、看護学部の教育課程に変更が生じることはなく、また、施設設備や隣接する長崎医療センターでの実習の実施等を含め支障はございません。

今回の決定にあたり、「女子の教育」を旨とする本学の建学の精神が変わることはなく、国際文化学部、健康生活学部への男子の受け入れは検討しておりません。校名も「活水女子大学」のままです。

社会からの要請に応え、地域医療への安心と信頼を提供すべく、看護職の育成に努めてまいります。

2024年6月
活水女子大学